



クラスだより

こりす組

9月号

空の高さや心地よい風、土の香り、虫の声、色づいてきた葉っぱ、まだ残る暑さの中にも、胸いっぱい深呼吸したくなるような秋を感じられるようになってきましたね。

9月に5人の仲間が増え、こりす組は13人になりました。歌声（それぞれに違う歌・ダンス）、笑い声（これが1番多い◎）、叫び声（おもちゃの取り合い💦）、泣き声（突然ママを思い出す💧）、賑やかすぎる喜怒哀楽のハーモニーがなりやみません☆
ここは安全な場所で自分らしくあいていいと感じ、喜怒哀楽をパワフルに表現できる子どもたちの姿はたまらなく愛おしいです。ひとりひとりの成長やペースを大切に、無理なく園生活が楽しめるように見守っています。私たちと、保護者の皆様も含めた「大人チーム」みんなでこの愛おしい子どもたちを包み込んでいきましょう。
こりす組後半も暖かい見守りとご協力をお願いします。

< 9月入園の方へ > こりす組、担任の梶原紀子（かじわらのりこ）です。
補助には小倉佳代子（おぐらかよこ）保育教諭が入っています。ご心配やご相談などありましたらいつでもお声掛けください。



おともだちがふえたよ♡

新しいシールを見つけて「お友だちくる？」と、心待ちにしていた子どもたち。いざお部屋に入ってくると、少し離れてそっと様子を見たり、お互いの好きなおもちゃを介して一緒に遊んだり…何日が経つと「一緒に抱持っていこう！」「コップはここだよー！」と朝の身支度を手伝う姿も見られるようになりました。新しいお友だちも少しずつ笑顔を見せ、自分から遊びに加わったりと、クラスに新しい繋がりが生まれています。

「自分でやりたい」という気持ちの育ちと共に「誰かを助けてあげたい」という優しい気持ちも育み中🌱
もちろんおもちゃの取り合いになったり、手伝ってあげたのに「いや！」と断られたりすることもあり、もどかしさや悲しさで泣いてしまうことも…。そんな時はまずそのままの気持ちに寄り添い、その後にお友だちの気持ちもイメージできるようにお話しています。

「みんな違う」「それでいい」ということを日々の生活から肌で感じ、柔軟に受け入れていく力と繋がっていくよう願っています。

また、新しいお友だちにとっては、大人からの言葉よりも、周りのお友だちがしていることをじっと見て、真似することが、意欲の芽生えに繋がります。お友だちの姿をきっかけに身の回りのことや初めての遊びに挑戦する姿が見られるようになっています。
お互いに刺激を受け、支え合いながら、ひとりひとりが、こりす組の毎日に彩りを与えてくれています✱



ファンタジーなせかい☆

椅子に座ると楽しくなって、足を床にドンドン！バタバタ!! 子どもたちにとって楽しい表現ですが、大切なお話が聞こえにくくなってしまいます。

そこでこんなお話をしました♪

「こりす組のお部屋の床の下に、こびとさんが住んでるんだって！みんなのお帽子と同じオレンジのお洋服を着ていて、赤ちゃんもいるの。だからドンドンしたらびっくりして怖がっているかもしれないね」

するとさっきまで元気に動いていた足が、すっととまりました。

靴箱のかざぐるまは、実は「いつも静かにしてくれてありがとう」と、こびとさんからのお礼のプレゼントなんです。

先日、お部屋の前の修理で大きな音が鳴った時、「こびとさん！だいじょうぶだよー！」と真っ先に床の下に声を掛ける子どもたち♡ファンタジーの世界を楽しみながら、子どもたちの中に育っている優しい心と、豊かな想像力を大切にしていきたいと思います。お家でお話していたら、ぜひ心合わせて楽しんでもらえたらと思います◎

今月の讃美歌・歌
♪よろこびひろげよう
♪フレフレぼくらのくみ

クラスの取り組み

- ＊友だちや保育者に親しみながら安心感を感じる
- ＊園生活の流れを知る
- ＊好きな遊びを見つける

